

臨戸訪問強化月間などで各部門の協力体制を強化し、さらに、市税等未納者への行政サービス利用制限強化について指針をまとめ、各事業課において完納証明書の添付を求めるなど事業の拡大を図っている。

その結果、旧長崎市ベースでの未収金の16年度決算見込みについては、前年度に比べ総額で約1億円圧縮できるものと考えており、今後とも、有効な施策に積極的に取り組むとともに、旧6町の未収金についても、行政センターとの連携を密にするほか組織の見直しも含めて、その縮減に取り組みたい。

公明党

学校図書館

議員 学校図書館への専任司書の配置について伺いたい。

教育長 専任司書の配置の重要性については十分認識しているが、直ちに全校へ配置することは困難である。また、県のモデル事業については、まだ制度化はされていないが、県内10校に専任司書を配置し、2分の1の補助額を2年間助成し、その後、各市町単独で継続する事業であると聞き及んでいるものの、本市にはさまざまな課題もあり、慎重に検討したいと考えている。

なお、これまで学校図書館の蔵書数拡充を第1の課題と考え、平成19

年度までに国の図書標準に対する充足率100%に向け取り組んでおり、また、12学級以上の学校に司書教諭を配置し、ボランティアの方々と連携を図りながら学校図書館教育を進めてきた。

さらに、朝の時間等を利用した心を耕す読書活動が全市立小中学校で行われ、推進されていることから、今後とも、これらの充実に努めたい。

日本共産党

水道施設統合整備事業

議員 水道施設統合整備事業の計画の見直しと落矢ダムの存続について伺いたい。

上下水道局長 合併により、浄水場は30カ所を引き継ぎ、うち17カ所は老朽化が著しい状況にある。

このことから、施設の維持管理に係る費用対効果等を勘案し、旧長崎市の幹線管路を延伸し、旧6町の配水施設等に接続する方法が最も効率的であることから、この方法による水道施設統合整備事業を実施することとしている。

また、落矢ダムを水源とする田浦浄水場は、老朽化も著しいことから、21億円程度の費用を要した改築が計画されていたが、水道施設統合整備事業を実施した場合、7千万円程度の工事費用で済むことから、廃止することとしている。

なお、落矢ダムについては、市民

委員会での意見等を踏まえ、今後検討したいと考えている。

気走会

マラソン大会実施

議員 女神大橋の完成を記念したフルマラソンの実施について伺いたい。

教育長 フルマラソンの実施には、市内の交通事情など難しい問題があることから、秋に実施している「長崎ベイサイドマラソン&ウォーク」を発展拡大し、ハーフマラソンができないか関係機関と協議を継続しているところである。

草の根クラブ

D 被害者対策

議員 D 被害者の自立支援のための市営住宅優先入居について伺いたい。

市長 D 被害者の市営住宅への入居については、今後、目的外使用の方向で対応したいと考えている。取り扱いについては、現在、整備中であり、関係機関との連携が整い次第、実施したい。

市民の会

合併協定等の履行

議員 蠣瀬浴場の存廃について伺いたい。

地域行政部長 蠣瀬浴場については、老朽化が著しいことから、平成18年

3月末の廃止予定を1年前倒すこととしていたが、廃止時期等について住民の皆様が十分納得いただいていないと判断したため、当初の計画に戻すよう決めたところである。ただし、故障により使用不能となった場合は、休止せざるを得ないと考えている。

委員会審査の主な内容

各常任委員会における主な議案の審査状況は、次のとおりです。

総務委員会

平成17年度一般会計予算(総務委員会所管部分)を修正可決

委員会では、嘱託員減員の考え方、各種委員会等のあり方、合併協議会等において各町と協議した結果と予算との整合性などについて慎重に審査しました。

これらの経過を踏まえ、6名の委員から連名で、地域資源の活用を考える市民委員会及び地域専門員の設置並びに蠣瀬浴場の運営に係る部分を減額修正しようとする修正案が、本市と合併前の旧高島町と協議していた事項を市に対し実施するよう要請する附帯決議案を添えて提出されました。また、これとは別に4名の委員から連名で、地域資源の活用を考える市民委員会及び地域専門員の設置に係る部分を減額修正しようとする修正案が、蠣瀬浴場の設置運営等を長崎市公衆浴場条例に基づき行政の責任において行うことなどを市